

高石市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で異常気象が発生し、国内においても猛暑や豪雨による自然災害が頻発するなど、地球温暖化が一因とみられる気候変動の影響が顕著化しており、生物多様性の保持を脅かす「気候危機」と言うべき深刻な状況となっています。

2015年に合意されたパリ協定において、世界の平均気温を産業革命前と比較して、その上昇を2℃未満とするものとされ、また、これを1.5℃に抑えるよう努力するとの目標が国際的に広く共有されています。そして、この目標を達成するためには、2050年までに温室効果ガスの年間の排出量を実質ゼロにすることが求められています。

高石市は、次世代のためにも、将来にわたり持続可能な循環型社会、脱炭素社会を形成するため、地球温暖化対策実行計画において、2050年を目途に二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする目標を掲げ、「ゼロカーボンシティ」を実現するための取り組みを推進することをここに宣言します。

令和3年2月25日

高石市長 阪 口 伸 六